

事業所名 グループホーム悠遊荘

運営推進会議開催報告書

開催日時		令和3年4月21日(水)	14時～15時	
参加者		議題		
民生委員	0名	※ 新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から予定しておりました運営推進会議の開催を中止とし、書面にて意見照会を行いました。		
町内会長	0名			
地域住民の代表者	0名			
地域包括支援センター職員	0名			1 3月・4月活動報告
市職員	0名			2 事故・ヒヤリハット報告
利用者	1名			3 身体拘束適正化について
事業所	4名			4 質疑応答
会議録				
1 3月・4月活動報告				
3月	1日(月)	往診		
	3日(水)	ひな祭り会		
	15日(月)	歯科受診		
	16日(火)	八幡神社 ドライブ：利用者4名		
	17日(水)	瀬戸公園 ドライブ兼ねて散策		
	25日(木)	ドライブでドーナツ購入(おやつで美味しく食べました。)		
	27日(土)	誕生日会 (101歳)		
		手作りケーキでお祝いしました。		
		レインボーマジックの方が来荘され手品を見せて頂きました。		
		利用者の方には距離を取り、離れて見て頂きました		
4月	5日(月)	往診		
	6日(火)	理容		
	8日(木)	レクで悠遊荘の外に出て、花見と焼肉会		
	20日(火)	訪問歯科3名		
	23日(金)	消防訓練 台所から地震による出火を想定で実施予定		
内部研修	4月15日(木)(職員会議にて開催)			
外部評価	目的達成計画について、今年度の目標を確認			
年間計画(担当)	法令遵守、身体拘束について			

2 事故・ヒヤリハット報告

(1) 事故

3月1日(月) 5時10分

リビングのソファで他の利用者の方が立ちがられたのを見て、一緒に立ち上がろうとして、バランスを壊し転倒。額から少し出血、絆創膏にて保護。

(2) ヒヤリハット

4月12日(月) 18時30分

夕食後の薬の封は開けてあったが、他の利用者の方の空袋と一緒にゴミ箱にそのまま入っていたので、すぐに飲んでいただく。薬の入っている箱が空になっていたため、日勤帯の職員がお互いに確認をしなかった。

飲み終わった薬の袋は空箱のケースに入れておく。(決定)

4月16日(金) 午前9時

利用者の居室の壁とベッドの間に画びょうが落ちていた。布団が触れて画びょうが落ちたように思われる。けがはなかったが、居室内では使用しない。

3 身体拘束適正化について

4月15日 職員研修として実施

職員会議にて「身体拘束ゼロへの手引き」を再度読み直し自分たちの行っている介護が、下記の拘束に該当しないかを話し合いました。

- ①フィジカルロック 例：車いすやベッドにひも等でしばる。 ベッド4点柵
つなぎ服 個室での隔離
- ②スピーチロック 例：威圧的な言葉で行動制限をする。
- ③ドラッグロック 例：過剰な向精神薬の投与

【弊害】 ・関節の拘縮、筋力低下など身体機能のみならず心肺機能低下や抵抗力の低下など身体的弊害

・人間の尊厳の侵害、精神的苦痛

・認知症だから理解できないと職員主導の介護になっていないか省みる。

・職員にとって都合の良い場合は、入居者が我慢している。

4 質疑応答

各委員から意見書を頂きました。

(1) 事故報告について

事故やヒヤリハットの報告、改善策を職員間で共有するために工夫していることがあれば教えてほしい。

(回答) 事故やヒヤリハットが起きてしまった時は、記録を残し、出勤時に職員が目を通してサインをしてもらっている。毎月の職員会議に一か月分の報告をし、対応について改善策を共有している。

(2) 身体拘束について

具体的に事業所内で気を付けていることや取り組まれていることはあるか。

(回答) 4月15日の職員研修において、「身体拘束ゼロへの手引き」の中から、身体拘束禁止の対象となる具体的な行為を確認、日常の介護の中で求められた時すぐに対応できず、無意識に「待っていて」、「座っていて」、「危ないから一人でしないで」など、安全を思っている言葉でも、スピーチロック（言葉の拘束）になることに気を付けている。

取り組みとして、自分たちの介護を振り返り、不適切な介護をしないよう、お互いに指摘し合うようにしている。

次回開催予定 令和3年6月23日（水）